

製油所をはじめ各部門でPDCAサイクルを回し、
今後も、より高い目標の達成を目指します。

2001年までの行動計画と実績

2001年度までの行動計画とその達成実績は、以下の通りです。環境マネジメントシステムに関しては、2002年度から、製油所だけでなく、本社、

油槽所、中央研究所など各部門においてもPDCAサイクルを回す仕組み^{*1}を構築していきます。また、2002～2004年度の環境中期計画「ブーア（Blue Earth）21^{*2}」を策定し、重点9テーマにおいて目標を設定しました。

*1 6ページを参照。

*2 7ページを参照。

行動計画		実績		ブーア21 重点9テーマ との関連
テーマ	目標	2001年度実績	(関連ページ)	
省エネルギー	地球温暖化の原因となっているCO ₂ の排出を抑制するため省エネルギーを推進し、製油所のエネルギー消費原単位を2010年度までに1990年度比10%削減します。	2001年度の削減率は1990年度比9.1%になっています。目標達成に向けて省エネ投資を順次実施しています。	19ページ	①
	石油の陸上輸送、内航海上輸送の燃料使用量を2010年度までに1990年度比9%削減します。	車両および船舶の大型化、配送の効率化を図った結果、2001年度は、1990年度比陸上輸送で、17%、海上輸送で15%の削減を達成しました。	33ページ	①
環境保全の徹底	製油所から排出する産業廃棄物の最終処分量を2010年度までに1990年度比67%削減します。	2001年度は、1990年度比78.4%の削減を達成しました。	21ページ	②
	SO _x 、NO _x 、CODなどの環境汚染物質排出量は、地域の排出基準を遵守するとどまらず、さらに排出抑制に努めます。	環境負荷物質の排出量は、規制値を大幅に下回っています。今後も排出抑制に努めます。	20ページ	②
系列SSに対する環境 保全活動の推進	SSの省資源・省エネルギーを推進します。	再生PET樹脂を使用したSSコスチューム(エコマーク商品認定取得)を開発しました。2002年度よりSSに導入します。	34ページ	④ ①
	SSに対する環境意識を啓発します。	省エネルギーを目的に、10カ所のSSにソーラーパネルを設置しました。	34ページ	⑨
オフィスにおける グリーン活動の推進	ペーパーレス化などによる省資源とリサイクルを促進します。	「SS施設管理マニュアル」に環境問題の取組み(PRTR法、産業廃棄物処理法等)の項目を記載し、全特約店、S S販売店に配布しました。	34ページ	④
研究開発 <石油本業関連の 技術開発> <新エネルギー>	高性能脱硫触媒の開発を推進します。	OA機器活用によるペーパーレス化を推進するとともに、事務用品のグリーン購入や古紙リサイクルを実施しています。	35ページ	⑦
	新エネルギー技術開発を推進します。	50ppm軽油の製造を視野に入れた高性能触媒を開発し、坂出製油所で実証試験を行っています。さらに高活性の触媒開発にも取り組んでいます。	12ページ	⑦
	排水処理関連技術開発を推進します。	天然ガスから液体燃料を効率よく製造する高性能触媒の工業規模での製造に成功しました。	14ページ	⑦
<産業向け 環境負荷低減 技術開発>	土壌中の油分浄化技術開発を推進します。	石油系燃料を用いた燃料電池システムの運転試験に取り組み着実な成果をあげています。	13ページ	⑦
	炭化水素ペーパー回収技術開発を推進します。	製油所排水処理工程で発生する余剰汚泥の減容化技術の坂出製油所での実証化試験の準備が整いました。	10ページ	⑦
社会貢献ならびに 広報活動	社会貢献活動を積極的に展開するとともに、コスモ石油の環境保全活動についての社内外への情報発信を行います。	土壌中油分浄化への微生物を利用した浄化技術の適用可能性の評価法を開発し、実証化試験を行いました。	10ページ	⑧
海外協力	海外を対象に、当社の人材・技術を活用して環境保全、省エネルギー、環境汚染防止のための安全管理技術等の普及に努めます。	石油系以外の有機溶剤等に適用できるペーパー回収吸着剤を開発しました。	15ページ	⑧
緊急時対策	緊急時の環境負荷を最小化するよう適切な処置を講じます。	社会貢献活動として、交通遺児、障害者支援の活動など、幅広い活動を積極的に展開しました。	39ページ	⑨
		ホームページや種々の定期刊行物により情報開示を行		